

2025年度 自己点検評価表（2025改訂版）

実施日 2026年

3月19日

学校名 Y I C公務

専門学校

1. 学校の教育目標

【教育理念】

本校は、教育基本法及び学校教育法に基づき、工業分野並びに商業実務分野及び教養面に関する専門知識及び技術を教授するとともに良識ある社会人として必要な資質を養い、国家、地域社会の発展に貢献できる心豊かなスペシャリストの育成を目指し、次の具体目標を掲げる。

【教育目標】

1. 工業分野並びに商業実務分野を始めとする多様な応用力のある専門知識と技術の習得
2. 自らの職業能力を証明する職業資格の取得
3. 幅広い視野と良識を持つ豊かな人間性の形成
4. 自主、自立と協調の精神の育成
5. 各業界における社会人としてのビジネスマナーの育成

2. 評価項目の達成及び取組状況

評価の基準 評価3（基準を上回り、特筆すべき取組等を行っている場合）
 評価2（基準をおおむね満たす場合）
 評価1（基準を満たしておらず改善が必要な場合）

【項目1】 教育理念・目的・目標

小項目	評価の基準	自己点検 評価結果	エビデンス等	自己点検 評価	第三者 評価	自己点検 2024版
1 教育理念、目的 及び目標の設定等	教育理念等を踏まえ、当該専門学校 としての目的及び目標を明確に設定 し、養成する人材像を明確にしてい ること。	3	学生便覧 修学支援制度確認申請書 インターンシップ	◎	◎	1-1,1-2 2-1

①状況説明

【教育理念】専門知識を教授するとともに、専門職者にふさわしい心を涵養し、地域社会の発展・向上に貢献できる人材を育成する。

【養成する人材像】専門知識と技術を習得し、自己研鑽に励むことができ、社会の変化に対応でき、他の職種とも協調でき、地域の発展・向上に貢献できる人材を育成する。

②課題及び今後の改善方策

③特記事項（優良な取組等）

職業実践専門課程の認定、ならびに修学支援制度の対象校としての認定を受けている

【項目2】 教育課程、教育の実施、学修成果

小項目	評価の基準	自己点検 評価結果	エビデンス等	自己点検 評価	第三者 評価	自己点検 2024版
1 教育課程の編成 と授業科目	①学校の目的・目標及び養成する人 材像を実現するために必要な教育課 程編成・実施方針を作成した上で、 教育課程を体系的に編成し、系統 性・段階性に配慮した授業科目を配 置していること。	2	学生便覧 シラバス 教育課程編成委員会議事録	◎	◎	3-1

2 教育の実施	①授業科目内容に応じ、講義、演習、実験、実習又は実技など、適切な授業形態で教育が実施され、かつ、適切な教材が用いられるとともに、成績評価基準に基づき成績評価を行っていること。	2	学生便覧 シラバス	◎	◎	3-2 4-1
	②企業等と連携した、実習、実技、実験又は演習等（以下「実習・演習等」という）の授業を行っていること。教育目標の達成に必要な企業等と連携した実習・演習等の単位時間または単位数の総授業時数に占める割合を具体的に設定していること。 【注】職業実践専門課程】	2	職業実践専門課程別紙様式 4 学生便覧	認	認	3-2
3 単位・卒業認定	学校の目的・目標及び養成する人材像を実現するために必要な卒業認定方針（資格・免許等を含む修得させる職業能力を含む）を学科・コースごとに定め、当該方針に基づき卒業の認定をしていること。	2	学生便覧（ディプロマポリシー） 卒業判定会議議事録 進級判定会議議事録	◎	◎	3-1-3 3-3
4 学修成果目標の達成状況	卒業認定方針を踏まえ、学科・コースごとに職業能力を含む資質能力の修得（資格・免許等の取得や知識・技術・技能の修得含む。）についての目標を定め、その目標が達成できていること。	2	学生便覧（成績評価） 資格取得率・公務員合格率一覧 教育課程編成委員会議事録	◎	◎	3-4 4-3
	学生が望む進路の実現に関する目標を定め、その目標が達成できていること。	2	学生便覧（ディプロマポリシー） 資格取得率・公務員合格率一覧 授業評価アンケート	◎	◎	4-2

①状況説明

【教育課程】教育課程編成委員会にて、企業や業界団体からの意見をいただき、教育課程表、カリキュラム、シラバス等を作成している。

【教育の実施】県内の各自治体との連携を充実させ、インターンシップの受け入れにもご協力いただいている。

【学習成果】公務員採用試験合格と資格取得を目標として、その成果を合格率と資格取得率でみている。

②課題及び今後の改善方策

【2-2①】成果の基準が曖昧なため、評価を客観的にみることができていない部分がある。評価基準を具体的なものに改めて行く必要がある。

③特記事項（優良な取組等）

【項目3】学生の受入れ学生支援

小項目	評価の基準	自己点検 評価結果	エビデンス等	自己点検 評価	第三者 評価	自己点検 2024版
1 学生募集及び入学者の選抜、収容	①入学者の受け入れ方針、入学選考基準、方法を定め、入学希望者に明示し、入学者の選考を公正に行い、可否を決定していること。	2	学生便覧(アドミッションポリシー) 修学支援制度確認申請書	◎	◎	7-1 7-2

定員の管理	②学生の受入れは、入学定員に基づき適正に行っていること。 【注】修学支援新制度機関要件の確認 【注】外国人留学生キャリア形成促進プログラム	2	学生便覧（学則） 修学支援制度確認申請書 学校基本調査	◎	◎	7-1
2 自主的な学習の促進に対する支援	学生の学力や学習状況を把握し、入学前教育や補習授業を行うなど学習支援に取り組んでいること。学生の円滑な学習に向け、シラバスの活用による学習成果の向上や自主的な学習に関する適切な支援を行っていること。	2	入学前教育実施記録 学生面談記録	△	△ (◎)	(5-1)
3 多様な学生に対する支援	①適切な体制を構築し、障がいのある学生、海外からの留学生、社会人経験者など、多様な学生に対する支援を行っていること。	1	校務分掌表 施設・設備一覧 学生面談記録	△	△ (◎)	7-1
4 学生生活に関する支援	①カウンセラーの配置、相談室の設置など、学生の相談に対応するための環境整備を行い、適切に運営していること。	3	学生便覧（学生相談について） 総合支援室設置 公認心理師在駐	◎	◎	5-1 5-3
	②留年者、退学希望者など学習の継続に困難な問題を抱える学生に対し適切な対応を行っていること。	2	学生便覧（学生相談について） 学生面談記録	◎	◎	5-5
	③学校保健安全法に基づく学校保健計画を策定し、学生の心身の健康管理体制を整備し、適切に運用していること。	2	健康管理規定 健康診断案内 健康診断書	◎	○ (◎)	5-4
	④学生の経済的側面に対する支援体制を整備し、適切に周知、運用していること。	2	募集要項 修学支援制度に関する案内 学費の減免・分割納付記録	△	△	5-4
	⑤学生のキャリア支援、就職支援に対する支援体制を整備し、適切に周知、運用していること。	2	キャリアサポート室面談記録 学生面談記録 シラバス（キャリア教育）	◎	◎	3-5-1 5-2-1

①状況説明

【3-1②】2026年度は定員充足率100%を達成する見込みである。
【3-3①】車いす等での施設内移動がしづらい状況があり、障がい者の受け入れが限られていた。
【3-4①】学生の相談への対応は、担任と総合支援室が連携して行っている。
【3-4③】学校保健安全法に基づき、学生の健康診断を4月に実施している。健康診断書を学校内に保管し、学生の診断書発行願によりすぐに発行できるようにしている。

②課題及び今後の改善方策

健康管理規定に関して職員間の共通認識ができていない。健康管理規定の内容と保管場所を職員がわかるようにしていく。

③特記事項（優良な取組等）

2026年度から教室が本館内に移動し、障がい者用トイレを使用できるようになるなど、バリアフリー化された環境で教育できる。

【項目4】教育実施組織・教職員

小項目	評価の基準	自己点検 評価結果	エビデンス等	自己点検 評価	第三者 評価	自己点検 2024版
-----	-------	--------------	--------	------------	-----------	---------------

1 教員の配置、募集、採用	①教育課程を実施するのに必要な、資格・要件を備えた教員を確保するために基準等（教員の採用基準等）を整備し、適正に運用していること。	2	就業規則 教員名簿 教員募集求人票	◎	◎	2-5-1 2-5-2
	②教員の常勤・非常勤、年齢構成等、また教員一人当たりの授業時数等を把握していること。また、教員の専門性、教授力を把握、評価していること。	2	教員名簿（非常勤講師含む） 授業時間割（講師名あり） 授業評価アンケート	△	△ (◎)	2-5-3
2 教員の組織編制等	①学校の目的に応じた分野の区分ごとに必要な教員組織を整備し、業務分担、責任体制を規程等で定めていること。	2	教員名簿（専門分野記載） 校務分掌表	◎	◎	2-5-4
	②教員間で連携、協力体制を構築していること。	2	教員グループメールによる情報の共有	△	△	2-5-41
3 教員の資質の向上	①学校の教育活動の改善、工夫を行うFD(Faculty Development)などの取組や、教員の研究活動、自己啓発等への支援を行っていること。	3	教職員研修実施要項 教職員研修後アンケート 全国専門学校教育研究会研修案内 Y I C 研修	◎	○ (◎)	2-5-21
	①-2特に職業実践専門課程においては、企業等と連携して組織的に行っていること。【注】職業実践専門課程】	2	職業実践専門課程別紙様式 4	認	認	2-5-24
	②教員の授業及び指導力等を修得・向上するための研修を企業等と連携して、組織的に行っていること。【注】職業実践専門課程】	2	全国専門学校教育研究会研修	認	認	2-5-24

①状況説明

【4-1①】教員（専任）及び非常勤講師については、教員募集求人票に従い採用している。
【4-3①】全国専門学校教育研究会の開催スケジュールによる研修の案内を行い、教員の研究活動や自己啓発の支援を行っている。

②課題及び今後の改善方策

各自治体との連携により職業理解のためのガイダンスを行っているが、どのような内容にするのかを話し合う時間がとれていない。相互の要望を出し、学生にとって実感が持てるものにしていくことが必要。

③特記事項（優良な取組等）

【4-3①】YIC学院で夏期と冬期に独自の研修を10講座程度行い、教職員や非常勤講師が自由に参加することで各自のスキルアップにつなげる取り組みが行われている。

【項目5】教育環境

小項目	評価の基準	自己点検 評価結果	エビデンス等	自己点検 評価	第三者 評価	自己点検 2024版
1 教育環境の整備	①教育上の必要性に対応できる施設・設備、機械器具等を備えていること。	2	専修学校設置認可申請書 施設・設備一覧	◎	◎	6-1-1 6-1-3
	②学生の学習支援のための施設(学習室等)を整備していること。また、学生の休憩、食事のためのスペースを確保していること。	2	教室等配置図	△	△	6-1-1

	③図書室を設置し、専攻分野の教育に必要な専門書及び参考図書を配架し、必要に応じて学生が閲覧できるようにしていること。	2	教室等配置図	△	△	6-1-2 6-1-4 6-1-6
2 安全対策、防災組織	①学校保健安全法に基づく学校安全計画を策定し、学校における安全対策を適切に行っていること。	3	危機管理規定 山口市救急ステーション認定	◎	○ (◎)	6-3-41
	②火災の発生や防災に関する組織体制を整備し、適切に運営していること。	3	防災規程 避難訓練計画・実施記録	△	△ (◎)	6-3
3 施設・設備等の点検、改善等	①施設・設備等の日常点検、定期点検、補修等を適切に行っていること。	2	施設・設備の定期点検報告書 補修・修繕の記録	△	△ (◎)	6-1-41
	②施設の改築・改修、設備の更新等の計画を定め、適切に実施していること。	2	補修・修繕の記録	△	△ (◎)	6-1-41

①状況説明

【5-1②】自習・休憩・食事はHR教室や学生ホールを使用できるようにしている。
【5-1③】図書室は利用できるようにしてあるが、蔵書の管理が不十分で貸し出しはできていない。
【5-2④】安全対策は火災におけるものを中心として考えてあり、地震・豪雨など他の災害に対するものも積極的に取り組む必要がある。
【5-3①】施設・設備の日常点検・定期点検は行っているが、補修・修繕の計画が示されていない。

②課題及び今後の改善方策

図書室の書籍管理台帳を作り、学生が必要とする図書がより使用しやすいように整備する。

③特記事項（優良な取組等）

【5-2①】YIC校舎内の従業員の70%以上が普通救命講習Ⅰを受講し、1名以上が上級救命講習を受講し、AEDが設置されているため、2026年3月18日に山口市の救急ステーション認定を受けた。

【項目6】教育活動の基盤と改善・向上の取組

小項目	評価の基準	自己点検 評価結果	エビデンス等	自己点検 評価	第三者 評価	自己点検 2024版
1 中期事業計画と財務基盤	①当該専修学校が策定している中長期的計画に、教育目的、教育目標の実現に向けた具体的な内容が位置付けられていること。	2	中期事業計画書	△	△ (◎)	2-2 2-3
	②当該専修学校の教育活動を安定して遂行するために必要かつ十分な財務基盤を確立していること。	2	財務諸表 財務計画書	◎	○ (◎)	9-1
2 学校運営	①学校運営の組織体制を整備し、適切な運営が行われていること（職業教育に関するマネジメント（教育の企画・設計・運営等）における責任体制を含む。）。	2	学校の運営規定 理事会名簿 理事会、評議会、職員会議、副校長会、事務長会議事録	◎	◎	2-4
	①学校関係者評価委員会、教育課程編成委員会等外部からの意見を反映するなど、関連企業等団体、地域社会等からの意見を当該専修学校の運営やその改善・向上において活用し	2	学校関係者評価委員会議事録 教育課程編成委員会議事録	△	△ (◎)	8-3

3 学校評価の実施と改善活動	①-2特に職業実践専門課程においては、教育課程編成委員会を年2回以上開催していること。【注】職業実践専門課程】	2	教育課程編成委員会議事録(2回分)	認	認	3-1-1
	②学校評価を実施し結果及び改善状況についての情報を公表していること。	2	保護者アンケート 学校関係者評価委員会議事録	◎	○ (◎)	8-3
	③学校評価の結果に基づく改善への取組を組織的かつ継続的に行っていること。	2	学校関係者評価委員会議事録	◎	◎	8-4
4 社会からの理解と情報の公表	①当該専修学校の教育活動、学修成果、学校運営等の状況に関する情報を積極的に公表していること。	2	ホームページ 学校案内	◎	○ (◎)	8-5
	②教育目的・目標の達成状況や活動状況について関連する教育機関、産業界等をはじめ、社会全体からの理解を得るよう取組んでいること。	3	公開セミナー開催記録 出張オープンキャンパス	△	△ (◎)	10-1

①状況説明

【6-2①】学校運営は理事会を中心に行い、教育の企画・運営については教育課程編成委員会の意見を参考にしておこなっている。

【6-3②】学校関係者評価委員会を年2回実施し、ご指摘・ご助言をいただいた内容について学校運営の改善に活かされている。

【6-4②】公開セミナーや校外の会場で行う出張オープンキャンパスにより、学校の活動の理解を得るように取り組んでいる。

②課題及び今後の改善方策

③特記事項（優良な取組等）

【6-4②】校外の地域の方が良く利用する施設において学校の取組を伝える出張オープンキャンパスを開催し、高校生や保護者以外にも地域住民の方に知ってもらえる機会を設けている。